

令和6年度 大館市立第一中学校 学校評価書(前期・年度)

A 学校教育目標

豊かな創造性を磨き 現在及び将来をたくましく生き抜く生徒の育成

B 目指す生徒像(校訓)

○自ら課題を見つけ、仲間と議論しながら、学び続ける生徒(英知) ○大勢の中で、認め合い競い合い支え合っ
て、仲間と心を繋ぐ生徒(友愛) ○高い志を抱き、仲間のため自分のために、困難に挑む生徒(忍耐)

C 目標具現化の構想と具体的な取組

指導の重点	豊かな創造性を磨き「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成 ～豊かな創造性を備え 共に論じ合い深め合う学びの実現を通して～
1 「校歌・校章の具現化」を目指し、思いを一つにする職員集団(Team Hearts)	<ul style="list-style-type: none"> ・「校歌・校章」を意識した職員集団の取組 ・「指導のすき間」を埋める「学年部内指導組織」の明確化 ・創造的運営意欲を掻き立てるミーティングの工夫 ・五大祭、IB集会、鳳雛講座、学校評価の改善
2 集団を鍛えて個を引き上げる創造的な企画と組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標実現のための4指導のアジャスト(調整) ・教育目標実現に向けた解決課題のクローズアップ ・「集団学び」を実現する学習指導 ・安心して安全な集団生活を実現する生徒指導 ・集団の良さを実感できる行事集会等指導 ・「共に挑む」経験を実現する部活動指導
3 地域で示し鍛える「揺るぎ無い存在感」の「核」	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりに着目した鳳雛講座の展開(職業観から生き様環へ) ・生徒会と地域の「つながり」の継続 ・生徒会テーマ 百折不撓「笑顔の花咲かせ 夢実り 雛集う大樹」 ・「誰もが認める存在感」の評価・改善の仕組みづくり

令和6年度後期の主な行事・出来事

9月	8/24 7日、14日、16日、21日、22日 大北秋季総体 バスケットボール女子・卓球女子団体・柔道男女団体優勝 水泳男子総合第1位 バスケットボール男子・バレーボール男女準優勝	11月	12日 新入生体験入学 13日 第2回一斉テスト 14日 避難訓練(火災) 16日 全県秋季バスケットボール～17 22日 部活動休止期間～12/5
	4日 第248回鳳雛講座(伝統工芸士) 7日 全県秋季水泳 男子個人第1位2種目 18日 第249回鳳雛講座(建設業)	12月	5日 県学習状況調査 11日 第252回鳳雛講座 (救急看護認定看護師・DMAT隊員)
	19日 第2回学校運営協議会 21日 全県秋季陸上～22 28日 親子窓拭きボランティア 29日 全県駅伝大会	13日、17日、18日	各学年球技大会
10月	3日 合唱祭 5日 一中祭 10日 第250回鳳雛講座(WEB制作) 16日 市教研教科部会②(第2回指定訪問:保体・技術) 17日 2年ココロの授業(村岡昇氏)～11/14 22日 生徒会役員選挙立会演説会・投票 24日 1、2年轟々講座 3年高校入試説明会 26日 全県秋季卓球～27 28日 生徒会発会式 29日 第251回鳳雛講座(酒造り 営業・製造) 30日 全校授業参観 1、2年学年PTA 3年高校入試説明会	1月	12日 県アンサンブルコンテスト 14日 3学期始業式 16日 新入生保護者説明会 22日 第253回鳳雛講座(栄養教諭) 30日 第5回指定訪問(道徳)
	31日 第3回指定訪問(特支)	2月	5日 3年第3回一斉テスト 13日 1、2年第3回一斉テスト 17日 第2回IB集会 第3回学校運営協議会 21日 PTA理事会・選挙管理委員会・役員懇親会 一次募集学力検査等実施日
11月	2日 全県秋季柔道～3 女子団体準優勝 5日 学校農園展 「最優秀賞・秋田県知事賞・NHK秋田放送局長賞」受賞 8日 生徒総会 9日 全県秋季バレーボール～10	3月	5日 第78回卒業式 8日 一次募集合格者発表 13日 学校保健委員会 21日 修了式 22日 春季休業～4/3



10月3日(木) 合唱祭 全校合唱「時の旅人」

11月14日(木) 2年生「ココロの授業」

令和6年度 学校評価一覧(年度)

【教職員自己評価】

学校名(大館市立第一中学校)

大館市教育の目的	共感的・協動的な学び合い(響学)を通して、一人一人が自らの考えを創造し、学びを深める児童生徒の育成
学校の教育目標	豊かな創造性を磨き 現在及び将来をたくましく生き抜く生徒の育成
学校の重点目標	豊かな創造性を磨き 「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成

人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価 A	委員評価	評価指標	主たる 担当	実践課題	主な取組	自己 評価 B
	I 組織的 学校運営と 展開	教職員が重点目標を意識し、チームとして、主体的、組織的に取り組んでいる。	良好	良好	1 職員組織の活性化	事務職員 教頭 連携担当	(1) 協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け	4
2 先を見通した危機管理					(2) 危機予測と職員管理・施設管理・会計管理		組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4	
3 開かれた学校づくり					(3) 外部との連携と発信、地域貢献		地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子供ハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	4	
II 指導調整 と経営課題の 焦点化	指導部や学年部等分掌を超えて取組を理解し、課題の解決に向けて共通実践に取り組んでいる。	良好	良好	4 教育課程の編成と管理	教務部	(4) 日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4	
				5 指導調整と諸会議の運営		(5) 指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4	
				6 課題の焦点化と研究	研究部	(6) 共通実践による仮説検証、研究会の活性化	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、授業研究会の活性化	4	
				7 諸検査の分析と活用		(7) 検査結果と課題等周知の仕組みづくり	諸検査結果の校内周知と課題の明確化	4	
III 健全な 生活習慣	集団の規律の大切さを理解し、よりよい集団生活に寄与しようとする意欲を育てている。	概ね良好	良好	8 校内生活規律の徹底	(生徒指導部)	(8) あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中学生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	3	
				9 校外生活安全の保守		(9) あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	4	
				10 望ましい生活習慣		(10) 保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	4	
IV 思いやり の心・たく ましい心	集団で一つの目標に向かって切磋琢磨する体験を重視し、自己と他者を大切にしている。	良好	良好	11 学年・学級経営	学年主任統括 生徒支援担当 部活担当	(11) 「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切にし、困難に打ち勝つ空気醸成(学校行事等の活用)	4	
				12 適応指導		(12) 教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不応等諸課題への対応	4	
				13 部活動運営		(13) 一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	4	
V 基礎学力 と学習習慣	集団で学ぶ力を高めることで、主体的、対話的で深い学びを実現しようとしている。	概ね良好	良好	14 学習規律・習慣の確立	学習指導部	(14) 主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3	
				15 学習環境の整備		(15) 教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	4	
VI 自治的 集団活動	集団で生活する喜びを実感し、皆とともによりよい生活を実現しようとする主体性を育てている。	概ね良好	良好	16 学校行事等集団活動	特活指導部	(16) 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取り組ませ方の工夫と振り返りの充実	4	
				17 生徒会活動と学校経営		(17) 共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	3	
				18 「一中学生の強み」を進化させる活動の工夫		(18) 「一中学生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	3	

D 評価

ア 学校運営 の状況	自己評価Aと外部評価の評価区分	極めて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
		良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
		概ね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
		やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
		努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 組織的學校運営と展開

学校運営の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント	
教職員が重点目標を意識し、チームとして、主体的、組織的に取り組んでいる。	前期	良好	良好	職員同士の意思疎通がよくなされている。職員室が明るく雰囲気がとてもよい。ヒアリングから風通しのよい職場組織であることがよく伝わってきた。
	年度	良好	良好	職員間の連携がよく、組織としてしっかりと機能している。経営方針、経営ビジョンが浸透している成果である。
学自 校己 評 改 善 策 の 概 要 と	<p>【前期(→年度)】 校長から示された学校経営方針を全職員が理解し、その具現化のために職務を遂行するよう努めている。今後も共通実践が疎かにならないよう、共有を大切にしていける。職員の危機管理意識は高く、学年部を中心に組織的な対応ができています。鳳雛講座に対する評価は高いが、保護者が感じている生徒の地域貢献意識はまだまだであるため、取組を継続していくことで高めていきたい。学校報、学年通信、HPやブログの更新は適宜行っている。子どもハローワークは、昨年度から担当の働きかけ(掲示板、プリント配付)が効果的にされているため、参加生徒が増えてきている。</p> <p>【年度(→次年度)】 前期から引き続き、各分掌及び学年部で組織的な対応ができています。職員が変わっても共有を怠ることなく共通実践につなげていきたい。鳳雛講座への評価は依然として高く、全校生徒を対象にした内容を年に1～2回組み込むことで進路への意識をより高めていければと思う。地域貢献意識は生徒、保護者ともに向上が見られたので、現在の取組を継続させていく。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 職員組織の活性化	(1)協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け	4	4
2 活力ある集団生活	(2)危機予測と職員管理・施設管理・会計管理	組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4	4
3 開かれた学校づくり	(3)外部との連携と発信、地域貢献	地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子供ハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	4	4

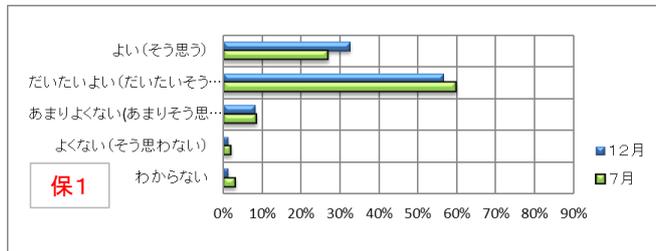
1(1)

職1 職員組織の活性化 平均4.8(令和6年度前期4.4)

1(2)

保1 学校は、生徒の安心・安全の確保について適切に対応していると思いますか。(危険予測能力や危険回避能力の育成、交通事故防止、非行防止、SNS利用マナー指導、不審者対応等)

	12月	7月
よい(そう思う)	33%	27%
だいたいよい(だいたいそう思う)	57%	60%
あまりよくない(あまりそう思わない)	8%	9%
よくない(そう思わない)	1%	2%
わからない	1%	3%

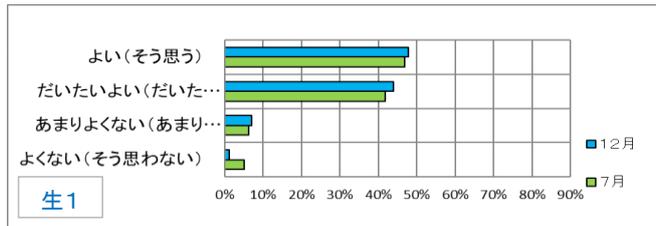


職2 先を見通した危機管理 平均4.7(令和6年度前期4.5)

1(3)

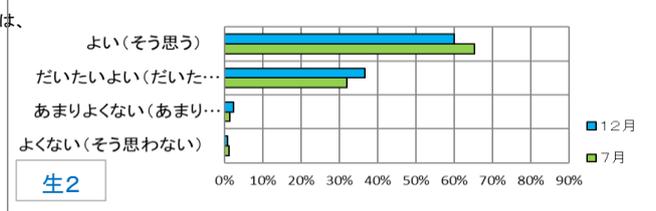
生1 あなたは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献したいと思っていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	48%	47%
だいたいよい(だいたいそう思う)	44%	42%
あまりよくない(あまりそう思わない)	7%	6%
よくない(そう思わない)	1%	5%



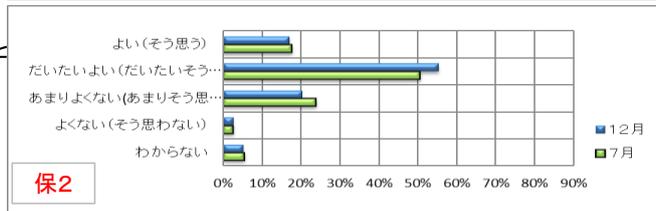
生2 あなたにとって、鳳雛講座や図南タイムの学習(合唱祭、一中祭等)での学びは、自分の生き方について考えるよい機会となりましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	60%	65%
だいたいよい(だいたいそう思う)	37%	32%
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	1%
よくない(そう思わない)	1%	1%



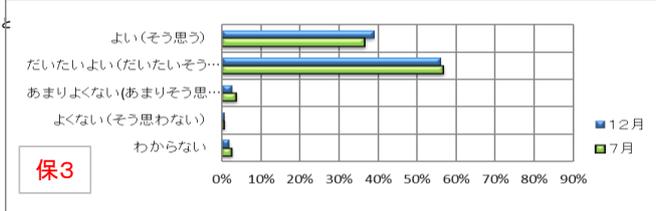
保2 あなたのお子さんは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献しようとする意識が高まっていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	17%	18%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	51%
あまりよくない(あまりそう思わない)	20%	24%
よくない(そう思わない)	3%	2%
わからない	5%	5%



保3 学校は、郷土愛を醸成し、地域に貢献しようとする生徒の意識を向上させるための取組を工夫していると思いますか。(鳳雛講座、合唱祭、一中祭等)

	12月	7月
よい(そう思う)	39%	37%
だいたいよい(だいたいそう思う)	56%	57%
あまりよくない(あまりそう思わない)	3%	4%
よくない(そう思わない)	1%	1%
わからない	2%	2%



職3 開かれた学校づくり 平均4.7(令和6年度前期4.6)

ア 学校運営の状況

II 指導調整と経営課題の焦点化

学校の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
指導部や学年部等分掌を超えて取組を理解し、課題の解決に向けて共通実践に取り組んでいる。	前期	良好	良好	研究、授業改善に向けた「ちょこっと研修」の成果が見られる。授業力向上に向けた取組の更なる成果を期待したい。
	年度	良好	良好	事前に見通しのもてる計画資料を提案することで、全職員が共通理解した上で行事等に取り組んでいる。
の自己改善評価の概要と学校	【前期(→年度)】	昨年度の課題や提案を基に教育課程を編成し、教務主任と学年主任・指導部長の連携を意識して計画の改善や実施に努めている。情報共有や分掌の隙間を埋める工夫についてはまだまだ課題が多いため、常に意見を聞き、改善に努めていく。前期は研究に関わる情報共有を意識した。職員の思いを生かした「ちょこっと研修」、相互授業・活動参観を改善しながら今後も継続していく。諸検査の結果については、普段の授業や活動での生徒の実態と照らし合わせながら分析し課題改善策を練りたい。		
	【年度(→次年度)】	各学年・指導部との連携と、職員間の情報共有を常に意識することができた。事前に計画案を共有することで、意見を取り入れた実施につなげられた。次年度に向け、職員が理解し、さらに動きやすい教育課程の実現を目指していく。後期は訪問や授業公開等の研修の機会に恵まれた。主体的・協働的な学びにつながる関わり合いについて成果が見られ始めた。同時に課題も焦点化されてきたことが数値低下の要因と考えられる。目指す生徒の学びの姿を職員間だけでなく生徒とも共有しながら次年度の方策を明確にしたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 教育課程の編成と管理	(4)日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4	4
5 指導調整と諸会議の運営	(5)指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4	4
6 課題の焦点化と研究	(6)共通実践による仮説検証、研究会の活性化	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、授業研究会の活性化	4	4
7 諸検査の分析と活用	(7)検査結果と課題等周知の仕組みづくり	諸検査結果の校内周知と課題の明確化	4	4

4(4)

職4 教育課程の編成と管理 平均4.7(令和6年度前期4.4)

5(5)

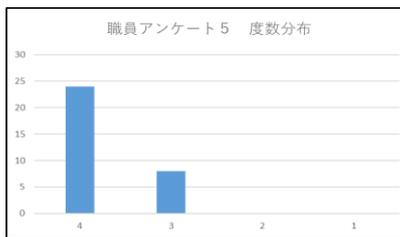
職5 指導調整と諸会議の運営 平均4.7(令和6年度前期4.4)

6(6)

職6 課題の焦点化と研究 平均4.8(令和6年度前期4.4)

7(7)

職7 諸検査の分析と課題等の周知 平均4.7(令和6年度前期4.0)

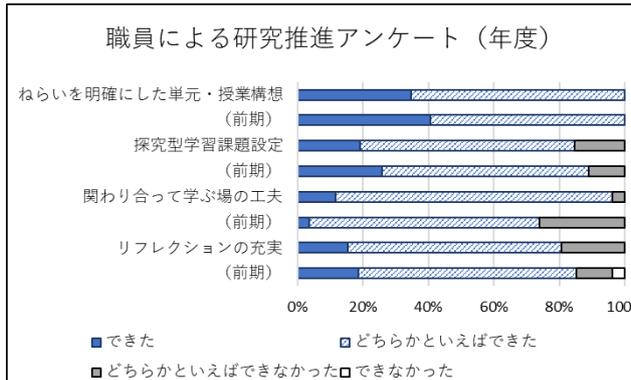
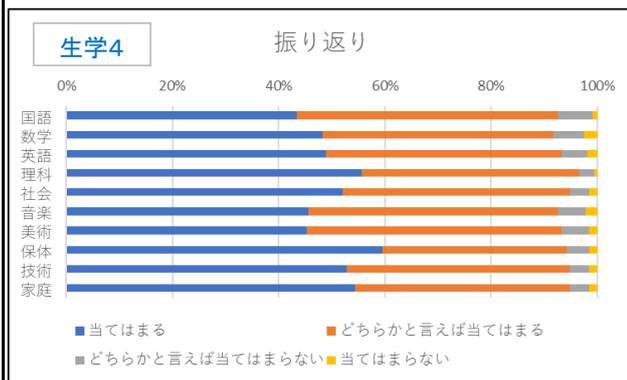
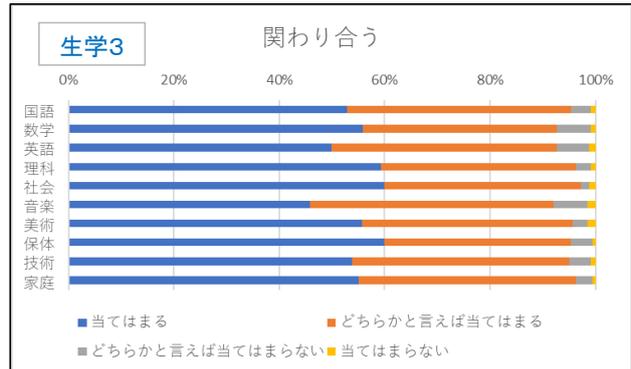
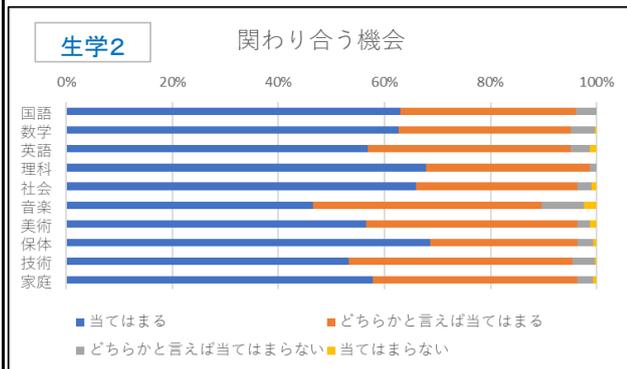


職員アンケート結果平均評価は前期を上回っている。職員の声を聞き、計画に生かしてきた成果が出ている。次年度に向け、職員の声から計画へつなげる意識をもち続け、改善を進めていく。

生物学2 授業では、学級やグループの中で課題の解決に向けて関わり合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組む機会がありましたか。

生物学3 授業で関わり合う活動では、関わり合う活動や話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えましたか。

生物学4 授業や単元の最後に、学習活動を振り返り、わかったことや考えたことをまとめたり、伝え合ったりしましたか。



イ 生徒の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

III 健全な生活習慣

生徒の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント	
集団の規律の大切さを理解し、よりよい集団生活に寄与しようとする意欲をもって生活している。	前期	概ね良好	良好	あいさつ運動に継続して取り組んでいる。規則を守るようとする規範意識が醸成されている。あいさつのアンケートにおいて生徒と保護者で回答差があるため、保護者アンケートの文言を検討してはどうか。
	年度	概ね良好	良好	望ましい生活習慣に関する情報提供が生徒、保護者に効果的にされており、成果を上げている。それがアンケートの肯定的回答にも表れている。
と自己評価の改善の概要	<p>【前期(→年度)】「校内生活規律、校外生活安全」は、学校生活における挨拶が昨年度の同時期と比べ、プラス回答が-5%だった。日頃からの声かけや学級の間関係づくりなど、全職員が授業や特別活動を通して挨拶する意欲を高めていきたい。保護者や地域の声は機会を設けて全校生徒に伝え、指導に生かしていく。「望ましい生活習慣」については、保護者の81%、生徒の85%が肯定的な回答をし、昨年度よりもその割合は増えている。今後も情報提供を行い、生活習慣の確立と継続への自己決定を促したい。</p> <p>【年度(→次年度)】「校内生活規律、校外生活安全」は保護者のプラス回答が微増した。お便り等での情報発信を継続していきたい。一方、生徒の校外での挨拶のプラス回答が微減した。地域の方からの情報も伝えながら、挨拶の大切さを教えていきたい。「望ましい生活習慣」は保護者の7割以上、生徒の8割以上が肯定的な回答をしたが、7月と比較し保護者、生徒とも肯定的な回答が低下している。情報提供を継続して行い、生活習慣の確立を促したい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 校内生活規律の徹底	(8)あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中学生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	3	3
9 校外生活安全の保守	(9)あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	4	4
10 望ましい生活習慣	(10)保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	4	4

8(8)

生3 あなたは、学校生活においてルールやマナーを守って生活していますか。 生4 あなたは、学校生活において、自分からあいさつをしていますか。

生3		12月	7月
よい(そう思う)	49%	44%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	49%	54%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	1%	
よくない(そう思わない)	0%	0%	

生4		12月	7月
よい(そう思う)	42%	45%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	49%	43%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	9%	11%	
よくない(そう思わない)	1%	1%	

保4 学校は、集団生活におけるルールやマナーを守ることができる生徒を育てるために、十分な指導を行っていると思いますか。

保4		12月	7月
よい(そう思う)	28%	24%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	58%	57%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	9%	13%	
よくない(そう思わない)	1%	2%	
わからない	4%	4%	

保5 一中学生のあいさつについて、どう感じていますか。

保5		12月	7月
よい(そう思う)	17%	14%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	56%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	23%	23%	
よくない(そう思わない)	1%	1%	
わからない	4%	6%	

生5 あなたは、校外において、地域の人などにあいさつをしていますか。

生5		12月	7月
よい(そう思う)	34%	39%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	43%	42%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	20%	17%	
よくない(そう思わない)	4%	2%	

職8 校内生活規律の徹底 平均3.8(令和6年度3.7)

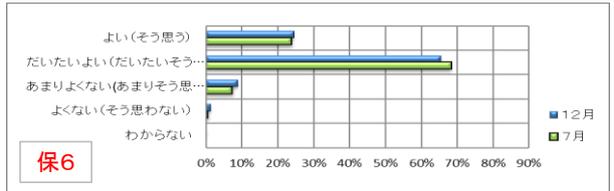
9(9)

生6 あなたは、校外において、安心・安全な生活を心がけることができますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

生6		12月	7月
よい(そう思う)	70%	65%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	29%	34%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	1%	2%	
よくない(そう思わない)	0%	0%	

保6 あなたのお子さんは、校外において、安心・安全な生活を送ることができますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

保6		12月	7月
よい(そう思う)	25%	24%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	65%	68%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	9%	7%	
よくない(そう思わない)	1%	1%	
わからない	0%	0%	

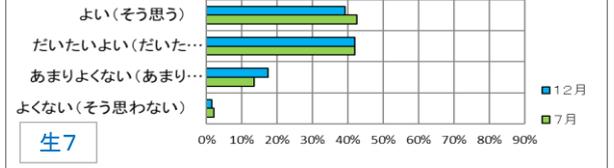


職9 校外生活安全の保守 平均4.4(令和6年度前期3.8)

10(10)

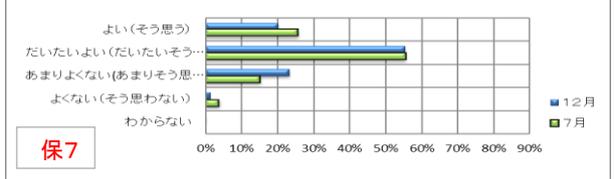
生7 あなたは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を心がけていますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

生7		12月	7月
よい(そう思う)	39%	43%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	42%	42%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	17%	13%	
よくない(そう思わない)	2%	2%	



保7 あなたのお子さんは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を送ることができますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

保7		12月	7月
よい(そう思う)	20%	26%	
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	55%	
あまりよくない(あまりそう思わない)	23%	15%	
よくない(そう思わない)	1%	4%	
わからない	0%	0%	



職10 望ましい生活習慣 平均4.4(令和6年度前期4.0)

イ 生徒の状況

IV 思いやりの心・たくましい心

生徒の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で一つの目標に向かって切磋琢磨する体験を通して、自己と他者を大切にしたいという思いをもって生活している。	前期	良好	良好	体育祭をはじめ、行事への積極的な取組がヒアリングからも感じられた。不登校が増加傾向にあるが、職員全体でアンテナを高くし、一人一人を大切にしたいという思いが育っている。
	年度	良好	良好	先生方が日常生活の中で生徒のよさや努力を認め、賞賛の言葉かけをしている様子がうかがえる。集団での活動を通して友達を大切に、共に高めたいという気持ちが育っている。
学自 校己 の評 改価 善の 概 要	<p>【前期(一年度)】 毎日の学校生活の中でも特に、学校行事を通して、仲間と協力して目標に向かって取り組むことの大切さを再確認し、達成感を味わうことができているのではないかとと思われる。また、学級集団だけでなく学年集団としても成長していけるように、今後も各学年部で協力し合いながら足並みを揃えて諸活動に取り組んでいきたい。教育相談に限らず、日常的なコミュニケーションにより生徒の状況を把握し、必要の対応をすることが概ねできている。不登校や不登校傾向が続く生徒や保護者に対しては、家庭と関連機関と情報を共有しながら適切に対応していきたい。第一の気魂や経営要質を通して、部活動の狙いや方針を学校や保護者で共通理解を図り、全職員で連携して部活動指導に当たっている。地域移行や部員数の減少など存続が難しくなっている学校での部活動だが、経験の有無に関わらず、生徒にとって有意義な時間となるよう指導に努める。</p> <p>【年度(次年度)】 教育相談だけでなく日常の学校生活の中で生徒理解が進められている。不登校(傾向)生徒に対しては家庭や関係機関と情報を共有して粘り強く支援することが必要である。生徒は合唱祭や一中祭、球技大会などの行事で、仲間と団結して活動する場に喜びを感じ、一生懸命に取り組むことができた。その充実感が大きいため前期よりも数値が向上していると思われる。今後も仲間と共に協力し、高め合いながら諸活動に取り組むことに喜びを感じられるように励ましていきたい。計画的なキャプテンミーティングの実施や日々の部活動での生徒同士の関わり、教師からの言葉など技術の向上だけではなく、人間性の育成にも全教職員で指導に努めている。一方で経験の無い部活動を担当したり地域移行の進捗状況に違いがあったりと、教師が関わることのできる範囲と保護者のニーズに少しずつ差が生じているようにも思われる。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 学年・学級経営	(11)「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切に、困難に打ち勝つ空気感醸成(学校行事等の活用)	4	4
12 適応指導	(12)教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不適応等諸課題への対応	4	4
13 部活動運営	(13)一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	4	4

11(11)

生8 あなたは、学年や学級の目標の実現に向けて、仲間と共に高め合いながら毎日の学校生活を送ることができていますか。

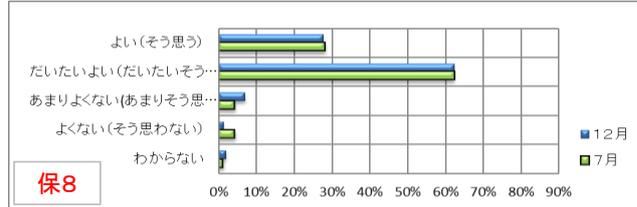
	生8	12月	7月
よい(そう思う)		62%	44%
だいたいよい(だいたいそう思う)		35%	51%
あまりよくない(あまりそう思わない)		4%	4%
よくない(そう思わない)		0%	1%

生9 あなたは、学校生活において、友達を大切に、共に高め合いながらいろいろな学習や学校行事等に取り組んでいますか。

	生9	12月	7月
よい(そう思う)		65%	59%
だいたいよい(だいたいそう思う)		32%	38%
あまりよくない(あまりそう思わない)		2%	3%
よくない(そう思わない)		0%	0%

保8 あなたのお子さんは、学年や学級の目標の実現のために、仲間と共に高め合いながら、毎日の学校生活を送っていると思いますか。

	保8	12月	7月
よい(そう思う)		28%	28%
だいたいよい(だいたいそう思う)		62%	62%
あまりよくない(あまりそう思わない)		7%	4%
よくない(そう思わない)		1%	4%
わからない		2%	1%

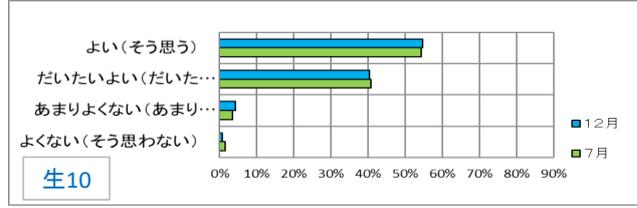


職11 学年・学級経営 平均4.7(令和6年度前期4.2)

12(12)

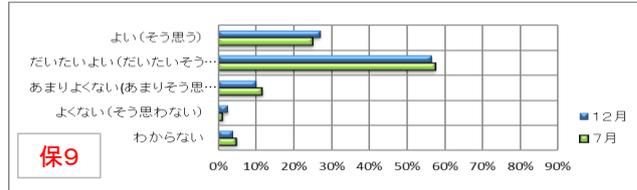
生10 先生方は、あなたの気持ちを理解し、誠実に対応していると思いますか。

	生10	12月	7月
よい(そう思う)		55%	54%
だいたいよい(だいたいそう思う)		40%	41%
あまりよくない(あまりそう思わない)		4%	4%
よくない(そう思わない)		1%	1%



保9 学校は、生徒や保護者の思いや願いに寄り添った対応をしていると思いますか。(教育相談の実施、SCとの連携、関係機関との連絡・調整、生徒・保護者への対応等)

	保9	12月	7月
よい(そう思う)		27%	25%
だいたいよい(だいたいそう思う)		57%	57%
あまりよくない(あまりそう思わない)		10%	12%
よくない(そう思わない)		3%	1%
わからない		4%	5%

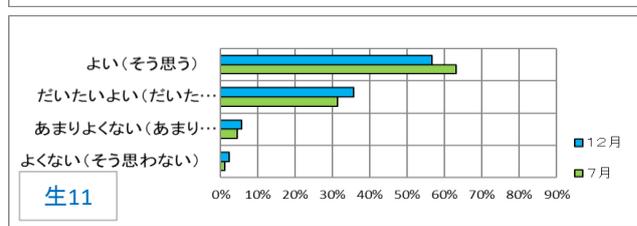


13(13)

職12 適応指導 平均4.5(令和6年度前期4.1)

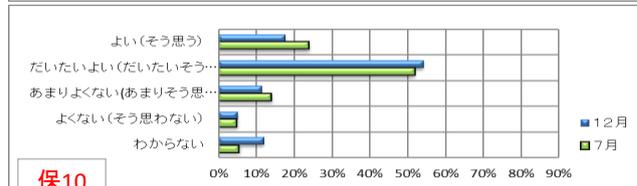
生11 先生方は、部活動において熱心に指導していると思いますか。

	生11	12月	7月
よい(そう思う)		57%	63%
だいたいよい(だいたいそう思う)		36%	31%
あまりよくない(あまりそう思わない)		6%	4%
よくない(そう思わない)		2%	1%



保10 学校は、保護者に対して部活動運営方針を提示するとともに、部活動を通して技術・技能、心の育成に努めていると思いますか。

	保10	12月	7月
よい(そう思う)		18%	24%
だいたいよい(だいたいそう思う)		54%	52%
あまりよくない(あまりそう思わない)		11%	14%
よくない(そう思わない)		5%	5%
わからない		12%	5%



職13 部活動運営 平均4.5(令和6年度前期4.1)

イ 生徒の状況

V 基礎学力と学習習慣

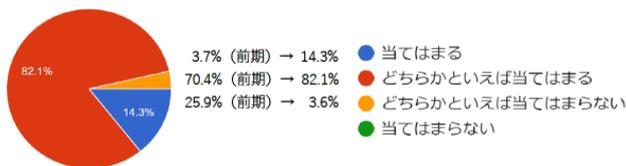
学校運営の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント	
集団で学ぶ力を高めることで、主体的、対話的で深い学びを実現しようとしている。	前期	概ね良好	良好	ICTを有効に活用している授業が多く見られた。学び合いも大変活発であった。
	年度	概ね良好	良好	「ICTを活用した授業が分かりやすい」「共有することで考えが深まる」という生徒の声がヒアリングで聞かれた。授業改善に向けた取組の成果である。
と自学已校評の価改の善概策要	【前期(→年度)】 主体的に学びに向かう姿勢が身に付いてきているが、学びをさらに深めるための規律を意識しながら生徒主体の授業づくりを実践していきたい。また、タブレットなどのICTを活用した授業も増えてきているので、効果的な活用ができるように学習環境の整備を充実させていきたい。			
	【年度(→次年度)】 共通実践事項の積み重ねにより、生徒の主体的学習態度は向上していると考えられる。さらに教師間の規律に対する共通理解を図ることで生徒の規律を整え学習に向かう気概を育てたい。学習環境においてもアンケート結果から前期より向上していると考えられる。ICTの活用だけでなく、教室環境を整え掲示等からも学び合える環境を整えていきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
14 学習規律・習慣の確立	(14)主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3	3
15 学習環境の整備	(15)教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	4	4

14(14)

*職員による研究推進アンケート(年度)

関わり合って学ぶ場を設定し、指導の工夫ができましたか。



保11 あなたのお子さんは、学校での授業に目標をもって取り組んでいると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	19%	18%
だいたいよい(だいたいそう思う)	54%	62%
あまりよくない(あまりそう思わない)	21%	16%
よくない(そう思わない)	2%	4%
わからない	3%	1%

職14 学習規律・習慣の確立 平均4.0(令和6年度前期3.9)

15(15)

生13 先生方は、授業においてICTを活用したり、教具やシート等を工夫したりして、生徒が理解しやすいように心がけていますか。

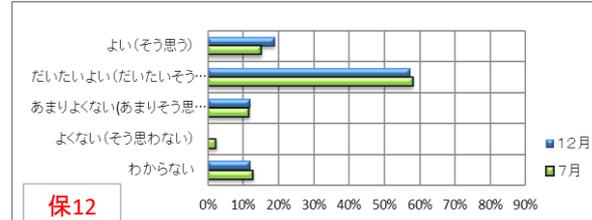
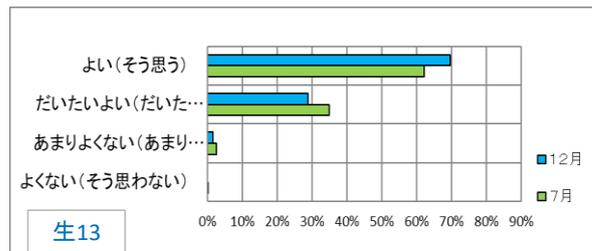
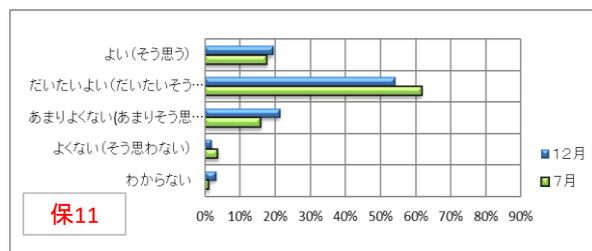
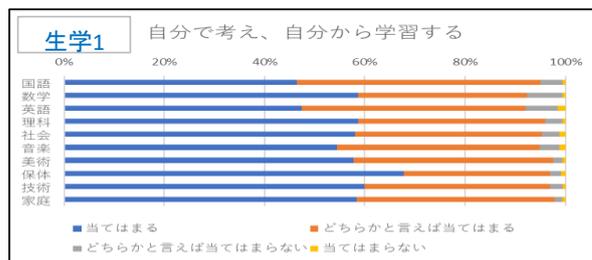
	12月	7月
よい(そう思う)	70%	62%
だいたいよい(だいたいそう思う)	29%	35%
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	3%
よくない(そう思わない)	0%	0%

保12 学校は、生徒の学力向上のために、日々の授業において指導方法や内容を工夫していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	19%	15%
だいたいよい(だいたいそう思う)	57%	58%
あまりよくない(あまりそう思わない)	12%	12%
よくない(そう思わない)	0%	2%
わからない	12%	13%

職15 学習環境の整備 平均4.3(令和6年度前期3.9)

生学1 授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましたか。



イ 生徒の状況

VI 自治的集団活動

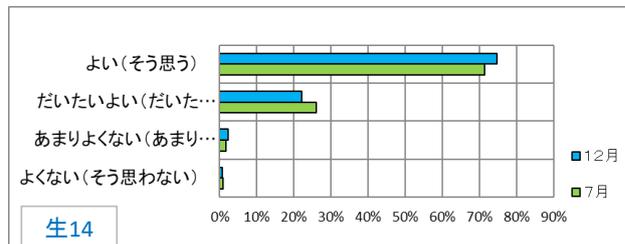
学校運営の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で生活する喜びを実感し、皆とともによりよい生活を実現しようとする主体性を育てている。	前期	概ね良好	概ね良好	生徒会活動、学校行事を軸に集団で生活する喜びを感じるための機会が充実している。保護者や地域に対して取組の様子を伝えるために、情報発信を効果的に行ってほしい。
	年度	概ね良好	良好	アンケート結果から、多くの生徒が集団で生活する喜びを感じていることがよく伝わってきた。
学自 校己 の評 改価 善策 の概 要と	【前期(→年度)】	ほとんどの項目で肯定的な評価が9割を超えている状況である。その反面、保護者から「生徒会活動やボランティアなどで、学校や学級がよりよくなるように自分から考えて活動している」という項目が否定的な評価が多い(23%)。生徒への事前指導や事後指導、保護者への紹介等、活動していることが家庭生活や地域での生活につながっているかどうかの検討が必要だと考えられる。		
	【年度(→次年度)】	ほとんどの項目で肯定的な評価が9割を超えている。その中で「共感と規律を意識させる全校集会」の項目について、生徒の評価と職員の評価に隔たりがある。職員側からの事前指導(向かわせ方)の大切さが指摘されており、分掌を超えた全職員での対応も必要である。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
16 学校行事等 集団活動	(16)皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取り組みませ方の工夫と振り返りの充実	4	4
	(17)共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	3	3
17 生徒会活動 と学校経営	(18)「一中生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	3	3

16(16)

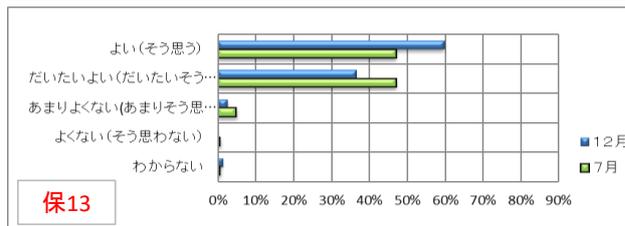
生14 あなたは、合唱祭や一中祭などの学校行事の意義や自分の役割を理解し、楽しく参加することができましたか。

	12月	7月
生14		
よい(そう思う)	75%	71%
だいたいよい(だいたいそう思う)	22%	26%
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	2%
よくない(そう思わない)	1%	1%



保13 あなたのお子さんは、合唱祭・一中祭等の学校行事に目標をもって取り組んでいたと思いますか。

	12月	7月
保13		
よい(そう思う)	60%	47%
だいたいよい(だいたいそう思う)	36%	47%
あまりよくない(あまりそう思わない)	3%	5%
よくない(そう思わない)	0%	1%
わからない	1%	1%

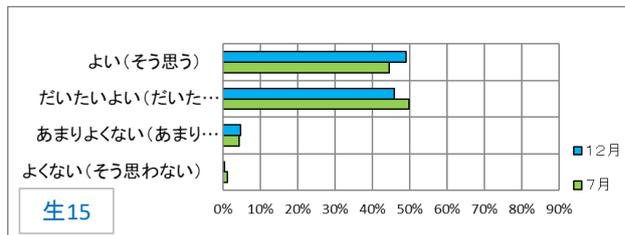


職16 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事 平均4.6(令和6年度前期4.4)

16(17)

生15 あなたは、全校集会や生徒総会、学年集会において、相手を意識した話し方や聴き方をし、自分の考えを深めることができましたか。

	12月	7月
生15		
よい(そう思う)	49%	45%
だいたいよい(だいたいそう思う)	46%	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	5%	4%
よくない(そう思わない)	0%	1%

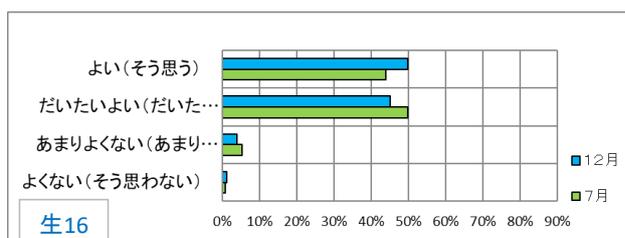


職17 共感と規律を意識させる全校集会 平均3.9(令和6年度前期4.0)

17(18)

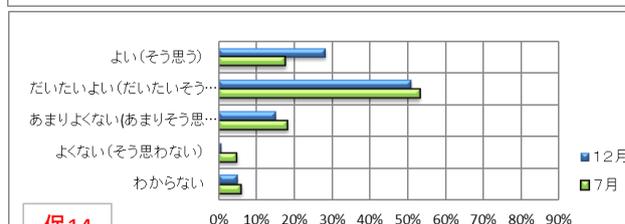
生16 あなたは、生徒会活動やボランティア、係や当番活動において、学級や学年、学校が少しでもよくなるように活動することができていますか。

	12月	7月
生16		
よい(そう思う)	50%	44%
だいたいよい(だいたいそう思う)	45%	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	5%
よくない(そう思わない)	1%	1%



保14 あなたのお子さんは、生徒会活動やボランティアなどで、学校や学級がよりよくなるように活動していると思いますか。

	12月	7月
保14		
よい(そう思う)	28%	18%
だいたいよい(だいたいそう思う)	51%	53%
あまりよくない(あまりそう思わない)	15%	18%
よくない(そう思わない)	1%	5%
わからない	5%	6%



職18 生徒会活動と学校経営 平均4.1(令和6年度前期4.0)